



横浜市立相沢小学校

学校だより

9月号

R元.8.30

自分らしく輝ける 世界に

校長 海老澤 孝代

夏休みは長雨・酷暑・台風・ゲリラ雷雨など天候が気になる日が続きました。皆様いかがお過ごしでしたか。9月28日にはふれあいスポーツフェスティバルが実施されます。まだまだ暑い日が続くと思われます。子どもたちの体調に十分注意しながら練習や準備に取り組んでまいりますので、水筒やタオル、着替えなどのご協力をよろしくお願いいたします。

さて7月のことですが、横浜市では「国際平和のために、自分がやりたいこと」をテーマに、よこはま子ども国際平和スピーチコンテストが実施されました。2015年国連サミットで採択された持続可能な開発目標（SDGs＝エス・ディー・ジーズ）に基づく17の視点から考え、本校からは、6年生のオリモブ ムハマド アジズさんが瀬谷区代表として本選に出場しました。『世界平和への道のり』というタイトルで、「まず相手を受け入れること、相手に伝える言葉一つ一つに責任をもつこと、これらを一人ひとりが大切に人に関わっていくことこそが、世界平和につながる」と訴えました。自分の考えが最も良いと考えるのではなく、相手の考えも尊重し多様な考えを受け入れ意見を交わすことから良い方向につながっていくということ。また多くの仲間自分が受け入れられているという経験や自分自身の実感をスピーチしていて、心が揺さぶられました。アジズさんは、この本選で『審査委員長賞』を受賞しました。素晴らしいです。これから1年間、よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員として、様々な活動をしていきます。

「未来が明るく、そして自分らしく生きていける世界になることを心から願う」とアジズさんはこのスピーチをまとめています。一人ひとりが今できることを考え実践していくことが、誰もが安心して、飾らずに自分らしく振舞ったり自由に表現したりできる、平和な世界を実現していくことになるのだと思います。

来年夏には、文化や言葉などが違う多くの国々からたくさんの人々が来日し、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されます。アスリートたちの各競技のパフォーマンスや素晴らしい演技、それから各国の応援も楽しみにしています。世界中のみんなが自分らしく輝けるように、違いを受け入れる寛容の意識を高めていくことこそが、次の時代につながるレガシー（社会的な心の遺産）だと思います。



学びあい 認めあい 支えあい
夢をはぐくむ あいざわっ子